

いっしょに考えてみませんか？

大阪市民は「ぜいたく」してた？ 大阪市は「お金がない」？

「500億円(年間)の 収支不足」って？

大阪市は昨年までの「収支不足」は年間約100億円と言っていました。

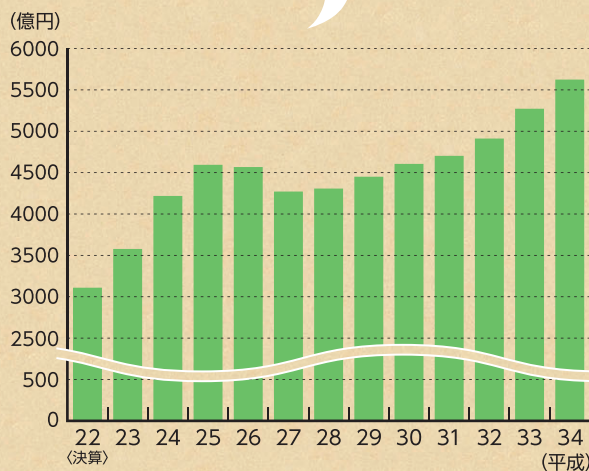
橋下市長になって急に年500億円も不足すると言って危機感をあおっていますが、これはまやかしです。毎年約150億円以上もある土地の売却代を収入に含めず、約1000億円もある貯金(都市整備基金)の活用をあえて外して「収支不足」を増やしたのです。

大阪市にはこんなに 貯金・資産がある

大阪市は貯金(公債償還基金)を4000億円以上も貯めています。10年後には5000億円を超える見込みです。これを横浜市のように一時活用すれば市民サービスを切り捨てる必要はありません。

市営地下鉄は毎年黒字です。民営化しなければその黒字は大阪市の収入として活用できます。

公債償還基金
満期一括積立残高の推移(見込)



橋下市長は、「大阪市民はぜいたくしている」「収支不足」といって「市政改革プラン(素案)」を発表しました。苦しい市民の暮らしを応援するのが大阪市の仕事のはずですが…。



リニアやカジノの 資金に回る?!

この「素案」が実行されれば3年間で1768億円のお金が作り出されます。橋下市長の言う「現役世代向けに重点配分」(妊婦健診などの充実)を実施しても3年間で300億円しかかかりません。この差額をリニアやカジノに回そうとしているのではないのでしょうか。

地震・津波対策 こそ必要

東海・東南海・南海地震は、いつ大阪を襲うかもしれない状況になっています。市民の命と財産を守るため、地震・津波対策の公共事業に直ちにとりくむ必要があります。

見えてきた「独裁」

橋下市長は新規採用職員発令式(4月2日)で、「あなたたちは国民に命令する立場になった」と訓示。さらに市会(4月13日)では「市役所の組織で、市長の顔をうかがわないで誰の顔をうかがうのか」と述べました。

